

第3章・リーディングプロジェクト



第1章のⅡ「埼玉県の観光の現状等」及び第2章のⅡ「基本方針」を踏まえ、観光における埼玉の強みを活かし、弱みを克服して、観光づくりを推進するためのリーディングプロジェクトとして次の5プロジェクトを推進します。

I おもてなし力向上推進プロジェクト

観光づくりを進めるためには県民が郷土をよく知り誇りを持つことが必要不可欠です。

そこで、「県民の地元に対する愛着度」が全国最下位、「旅行で訪れた観光客が地元の人へのホスピタリティを感じた割合」が第42位という民間調査の結果を踏まえ、県民の郷土に対する理解を深め、おもてなし力向上を図ります。

主な取組

- 郷土に対する誇りを持つことにつながる取組の実施
- 観光事業の第一線で旅行者と接する人たちへの、埼玉観光に対する理解を深める働きかけ
- おもてなし力の向上に取り組む事業者の募集・認定
- 事業所内でおもてなし力向上に取り組むリーダーに対する研修等
- 観光に携わる事業者や商工団体等との連携による推進体制の構築

II 埼玉ブランドプロモーション推進プロジェクト

県民が自慢できる埼玉ならではの物産や土産品を発掘・開発し、全国的に下位である観光消費額のアップを目指します。

また、市町村との連携や民間団体等の既存媒体の活用等により、優れた物産のブランド化を推進するとともに、SNS[※]等多様な情報ツールにより、埼玉の観光資源を効果的にPRします。

主な取組

- 「埼玉A級グルメ」提供飲食店の発掘
- 県産農産物サポート店や畜産物推奨店との連携
- (社)埼玉県物産観光協会を核としたプロモーション
- 埼玉物産等のブランドイメージの向上
- 県産農産物を使った伝統食の情報発信・PR

Ⅲ 水辺空間のとことん活用プロジェクト

本県は、県土面積に占める河川の割合が3.9%で全国一となっています。「川の国埼玉」の実現を目指し、川の再生と市町村のまちづくりとが一体となった「川のまるごと再生プロジェクト」に取り組みます。

また、市町村等と連携し、ゆとりと安らぎ、また、時には多くの人々が集うにぎわいの場所を創出する水辺空間を観光資源として積極的に活用します。

主な取組

- 川の再生を通じた観光に資する基盤整備の推進
- 市町村が実施する川と地域の資産を活かした観光づくりの取組と連携
- 民間の活力を活かした観光資源（オープンカフェ、バーベキュー場、イベント広場等）としての河川敷地の検討

Ⅳ アニメの聖地化推進プロジェクト

「らき☆すた」や「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」、「クレヨンしんちゃん」など、本県の有するアニメやマンガの舞台モデル地（＝アニメの聖地）を活用した観光施策を市町村や民間団体等と連携して推進します。

「埼玉＝アニメの聖地」というイメージの定着を図り、本県のアニメの聖地に、多くの観光客を誘引します。

主な取組

- 「アニメの聖地サミット」、「コスプレ大会」などユニークで多種多様なアニメイベントの開催
- アニメの作品世界を感じることができる聖地づくりの推進
- 外国語ホームページや海外の旅行展での埼玉アニメのPR

V 産業観光テーマパーク推進プロジェクト

本県には、自動車や食品をはじめ、多彩で豊富な工場が存在しています。また、道路網の整備と企業誘致活動により産業の集積がさらに進んでいます。

そこで、市町村や民間団体等と連携して、産業施設を観光資源として有効活用する観光施策に取り組みます。

産業ツーリズム^{*}を推進し、「埼玉＝産業観光テーマパーク」というイメージの定着を図ります。

主な取組

- 県内の工場や工業団地に見学コースを設定
- 観光資源や農業体験を組み合わせた周遊コースのコーディネート
- 旅行業者等と共同して産業観光の旅行商品を企画・開発